

一般質問通告書

⑨

平成25年12月9日

多可町議会議長 河崎 一 様

多可町議会議員

辻 誠 一 

受領

午前

午後 10 時 38 分

質問の項目及び要旨

答弁を求める者

1.

県行革プランへの対応について

町長

県は11月26日「オ3次新行革プラン」(素案)を発表。主な内容として老人医療費助成の「所得なし世帯」(1割負担)を2割負担に「年金所得のみ世帯」への助成の廃止を12月中旬に県下市町の意見を聞いて正式案にする予定。①県町村会の会長でもある町長はどの様な意見を述べたのか。また敬老の日発祥の町としてどの様に対応するのか?

② ----- 別紙

2.

多可町事業仕分け2013町の方針について

町長

平成25年11月25日に町で発表した「町の方針」には有害鳥獣対策事業について、有害鳥獣の死骸処理を北播管内広域の施設で速やかに処理できる体制を(別紙)

3.

☆ 一般質問の通告期限は12月9日(月)午後0時00分までです。

質問要旨はできるだけ詳細にお願いいたします。

一般質問通告書（別紙）

1・県行革プランへの対応について

県は11月26日「第3次新行革プラン」（素案）を発表。

主な内容として老人医療費助成の「所得なし世帯」（1割負担）を2割負担へ、「年金所得のみ世帯」への助成の廃止を12月中旬に県下の市町の意見を聞いて正式案にする予定。

- ① 県町村会長でもある町長は、この場でどの様な意見を述べられたのか。
- ② 母子・父子家庭等医療費助成事業の見直しにおいて対象から外された高校生等への対応は如何様にするのか。
- ③ また敬老の日発祥の町として、老人医療費助成事業見直しの影響を受ける高齢者にどの様に対応するつもりか。
- ④ シカ捕獲事業について、県はシカ捕獲専任班支援事業の打ち切り及びシカ個体群管理事業のうち日当制を廃止、更にシカ緊急捕獲拡大事業の捕獲単価の切り下げをする方針である。これでは、町内のシカ駆除が後退してしまうのではとの危惧を抱く。最悪でも県が廃止する制度については、町単費で同様の制度を新設するべきだと考えるが、町としてどの様に対応するのか。

2・多可町事業仕分け2013町の方針について

平成25年11月25日に町が発表した「町の方針」には、有害鳥獣対策事業について、猪名川動物霊園に依頼している有害鳥獣の死骸処理を、北播磨管内広域の施設で速やかに処理できる体制を県に要望する。と書かれている。

しかし、平成24年度の猪名川動物霊園への処理依頼件数は、多可町の152頭が最大で、西脇市85頭、加東市5頭、加西市60頭、小野市0頭、三木市90頭でしかなく、加東市も加西市も三木市もごみ焼却場もしくは、火葬場にて処理している。

- ① この事から県が多可町の要望を受け入れて県費で処理施設を整備してくれるとは思えないが、どの様な見通しがあるのか？
- ② 県費での施設整備を要望するにしても施設の設置場所はどこを想定しているのか。
- ③ 現在交通事故・のり網等におけるシカ等の死骸処理のみならず、猟友会において駆除されたシカ等の処理についてはどの様な認識なのか？
- ④ シカ等の死骸処理は北播磨管内の自治体とではなく、丹波地域の自治体（丹波市、篠山市、福知山市、京丹波市等）との連携を模索すべきではないか？